

決算特別委員会資料

議案 第86号

令和6年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

- | | | |
|--|------------|---------|
| 1 | 歳入決算額 | ・・・P2 |
| 2 | 歳出決算額 | ・・・P2 |
| 参考 | 消防局主要事業の概要 | ・・・P3～4 |

消防局

令和6年度北九州市一般会計決算について(消防局所管分)

1 歳入決算額

(単位:円)

款	項	目	節	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	
17	1	11	1	消防使用料	2,385,000	0	0	2,385,000	2,014,279	2,014,279	0
	2	9	1	消防手数料	41,432,000	0	0	41,432,000	30,912,300	30,912,300	0
18	1	3	1	消防費負担金(国)	7,152,000	0	0	7,152,000	7,169,250	7,169,250	0
	2	11	1	消防費補助金(国)	22,786,000	0	0	22,786,000	8,287,262	8,287,262	0
	3	6	1	消防費委託金(国)	3,000,000	0	0	3,000,000	2,985,620	2,985,620	0
19	2	9	1	消防費補助金(県)	136,709,000	0	0	136,709,000	136,581,200	136,581,200	0
20	1	1	1	土地貸付収入	2,271,000	0	0	2,271,000	1,123,800	1,123,800	0
			2	建物貸付収入	5,712,000	0	0	5,712,000	3,804,480	3,804,480	0
22	2	18	1	退職手当基金繰入金	182,502,000	0	0	182,502,000	182,500,000	182,500,000	0
24	6	4	30	消防費雑入	110,311,000	0	0	110,311,000	80,515,415	80,515,415	0
25	1	10	1	消防債	1,608,600,000	0	84,000,000	1,692,600,000	1,559,800,000	1,559,800,000	0
合計				2,122,860,000	0	84,000,000	2,206,860,000	2,015,693,606	2,015,693,606	0	

2 歳出決算額

(単位:円)

12款1項 消防費	予算現額					支出済額	翌年度繰越額	不用額
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1目 消防職員費	9,762,817,000	308,412,000	0	0	10,071,229,000	9,876,885,892	0	194,343,108
2目 常備消防費	831,856,000	0	0	25,000,000	856,856,000	826,403,882	0	30,452,118
3目 非常備消防費	400,983,000	0	0	△ 10,000,000	390,983,000	364,280,986	0	26,702,014
4目 消防施設費	2,221,021,000	0	116,400,000	△ 15,000,000	2,322,421,000	2,289,499,243	0	32,921,757
合計	13,216,677,000	308,412,000	116,400,000	0	13,641,489,000	13,357,070,003	0	284,418,997

消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	決算額
あらゆる災害に対応するための消防体制の整備	① 消防体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	大規模災害への備えとして、救命胴衣、チェーンソー、化学防護服、泡消火剤等の資器材を整備する。 また、消防活動用ドローンの機能を最新のものとする事で、災害現場での情報収集能力を向上させ、効果的・効率的な災害現場活動を行った。 ◆消火剤購入数：63缶（1,260L）	38,155
	② 消防職員の人材育成・能力向上 【2目 常備消防費】	消防職員に必要な資格を取得させるとともに、専門知識や技術の向上を図るなど、計画的な人材育成を行った。	20,016
	③ 消防施設の整備 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進める。 また、第三者所有方式による省エネ機器の導入などにより、消防施設におけるカーボンニュートラルを推進する。 ◆消防局庁舎（改修工事） 他14施設	324,582
	④ 消防車両等の整備 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防活動に必要となる消防ポンプ自動車や、はしご付消防自動車等を更新した。 ◆常備車両更新台数 12台（国無償貸与1台含む） ◆非常備車両更新台数 6台	1,067,484
救急体制の強化	⑤ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	「患者情報管理システム」を導入し、患者情報を早期に医療機関と共有することで救急搬送の迅速化を図る。 新たに救急車1台を増台し、加えて救急車6台を更新する。 また、救急救命士7人を養成した。	366,378
	⑥ 救急活動の質の向上 【2目 常備消防費】	より多くの命を救うため、医療機関との緊密な連携により、医師による専門性の高い指導・助言を受けることで、救急活動の質の向上を行った。	6,690
	⑦ 市民による応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進した。 ◆各救命講習実績：690回・29,134名	1,395

消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	決算額
火災予防対策の強化	⑧ 火災予防対策の強化 【2目 常備消防費】	木造の市場・商店街が密集する地域の火災を防ぐため、地域ぐるみの防火訓練や「防火指導員」による映像を用いた啓発を行うとともに、住宅用火災警報器の設置や交換等を行った。	8,749
	⑨ 防火査察の強化 【2目 常備消防費】	木造の市場・商店街が密集する地域における火災予防対策の強化を図るため、防火指導及び違反是正の推進を行った。	20,089
地域における災害対応力の向上	⑩ 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、防火服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図る。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図った。 ◆八幡東消防団第1分団本部建替え（平野二丁目）	337,345
	⑪ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行った。 ◆令和6年度の訪問数 2,040世帯	5,460
	⑫ 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」への防災リーダー研修の実施や、地域で開催される防災訓練の支援を行った。 ◆防災リーダー研修会実績：30回・1,123名	6,480
	⑬ あんしん通報システムの運用 【2目 常備消防費】	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組んだ。 ◆令和6年度末 稼働数：2,412台	275
			※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 44,291